



メットライフ生命のご紹介

令和4年6月9日 共同会見

メットライフ生命について



50年の歴史を持つ日本初の外資系生命保険会社

本社(米国ニューヨーク市)は設立150年超の 世界最大級の生命保険グループ会社

米国、日本、中南米、アジア、ヨーロッパ、中東等、
世界40ヶ国以上に事業を展開。

(※日本人向け円貨建保険契約引受認可取得年)

設立※	1972年12月11日 (日本人向け営業開始:1973年2月1日)
資本金 (資本準備金を含む)	2,226億円
従業員数	8,518名
保有契約件数	953万件 (個人保険・個人年金保険計)
総資産	14兆4,999億円

(2022年3月末)

日本では、お客さまに信頼され、選ばれる会社を目指し、
お客さまのニーズに合った保険商品をコンサルタント社員、保険代理店、
金融機関代理店、インターネットの販売ラインを通じて提供。

長崎

長崎市(2020年12月)、長崎県(2021年3月)と包括連携協定締結。

地域とのさまざまな連携活動に対し、2022年3月

「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」として
内閣府特命担当大臣(地方創生担当)から表彰(外資系金融機関初)。



神戸

2005年に開設。約500名の社員が在籍。ONE KOBEの精神で業務に従事する重要拠点。

本年3月にはコロナワクチンの職域接種会場を設置。神戸市近郊にお住まいの幅広い対象の方々に接種の機会を提供。



神戸サイト

神戸クリスタルタワー

神戸支社

ハーバーランドセンタービル

メットライフ生命の サステナビリティ活動



宮城県エコラの森での「100年後に生きる子ども達に感謝される森づくり」プログラム



メットライフ財団 × 日本財団
高齢者・子どもの豊かな居場所プログラム



女性リーダー育成プログラム
(TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program) で
企業フィランソロピー賞
「未来をひらく女性賞」を受賞

海と山が育むグローバル貢献都市の実現に向けた

包括連携協定の締結



×

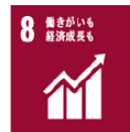


令和4年6月9日 共同会見

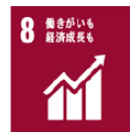
包括連携協定項目



1. 人材育成



2. スタートアップ支援



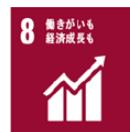
3. 環境サステナビリティ



4. 健康増進、ウェルビーイング向上



5. 神戸の魅力向上と情報発信



1. 人材育成

世界で活躍できるグローバル人材の育成



神戸市外国語大学の学生に
グローバル企業であるメットライフ生命
の経営戦略、社内組織制度等に関する
講義（グローバル人材育成講座）を
実施予定

受講学生のグローバル社会への理解を
促進し、未来を担うグローバル人材を
育成

1. 人材育成

高校におけるSTEAM教育の支援



メットライフ生命のデータサイエンティストが講師となり、市内の高校で課題の設定からデータ分析による検証と提案までの一連の流れを体感できるプログラムを実施

DEIの理解促進・文化醸成のための職員研修

D ダイバーシティ (多様性)
E エクイティ (公平性)
I インクルージョン (包括性)

メットライフ生命と神戸市の職員の間でDEIに関する情報交換会をキックオフとして、職員研修などの連携を今後検討

2. スタートアップ支援

神戸市と協働した女性起業家の支援



※ 「Women's Startup Lab Impact Foundation Japan」と連携した女性起業家支援プログラム。
令和4年6月より実施予定。

神戸市が連携しているシリコンバレー発の女性起業家育成プログラム(※)への支援を実施

具体的には、上記プログラム修了者を対象にフォローアップとして神戸市と共催で新たなプログラムを実施予定

3. 環境サステナビリティ



(具体事例)

里地里山の保全活動への参画



「生物多様性保全のシンボル拠点」として整備されてきた北区の「キーナの森」をメットライフ生命神戸サイトの社員が「企業の森づくり」活動として森林保全のボランティア活動を行う

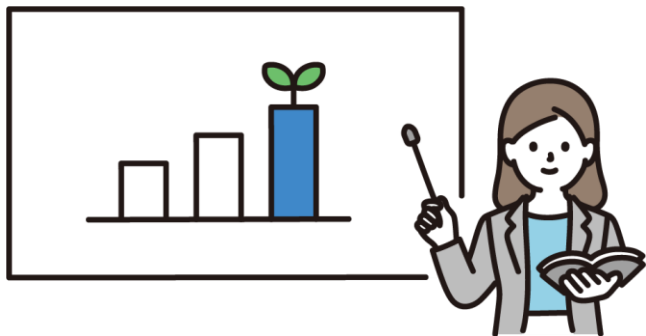
今年度中に兵庫県、神戸市、兵庫県緑化推進協会と4者で森づくり協定を締結

4. 健康増進・ウェルビーイング向上



(具体事例)

次世代のためのファイナンシャルリテラシー向上



メットライフ生命の社員が講師となり、
神戸市立の高校の家庭科の教職員に対して
金融教育に関する研修を実施予定

安心・健康でゆとりあるくらしのための情報発信

神戸市の健康・介護・認知症関連施策に関するチラシをメットライフ生命の
営業職員がお客さまに配布

5. 神戸の魅力向上と情報発信



(具体事例)

社内のデジタルツールを活用した「神戸ブランド」の発信



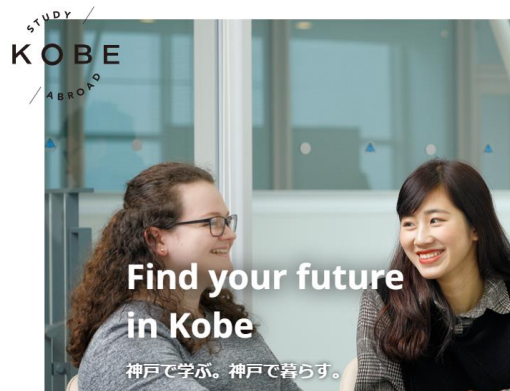
メットライフ生命の社内のデジタルツールと
オフィスの掲示板などに **ポスト・コロナを**
見据えた神戸市の観光情報やふるさと納税等
の情報を掲載し、神戸の魅力を発信

5. 神戸の魅力向上と情報発信



(具体事例)

海外への市内大学の情報発信



海外の学生が神戸市内の大学に関心を持ち、市内の大学への留学のきっかけづくりのため、**BIDV MetLife^(※)で子どもの教育、特に日本への留学に興味を持つ親を対象に、ベトナム国内で日本/神戸留学セミナーを実施予定**

※ BIDV MetLifeは、ベトナム投資開発銀行とメットライフ(米)が合弁で立ち上げた生命保険会社

神戸市、メットライフ生命が包括連携協定を締結 ～神戸のまち・くらしの質を高め、海と山が育むグローバル貢献都市の実現～

神戸市とメットライフ生命保険株式会社は令和4年6月9日、「人材育成」、「スタートアップ支援」、「環境サステナビリティ」、「健康増進、ウェルビーイング向上」、「神戸の魅力向上と情報発信」の5項目において、包括連携協定を締結しました。本協定に基づき、神戸市とメットライフ生命は、神戸のまち・くらしの質を高め、海と山が育むグローバル貢献都市の実現にともに努めていきます。

1.「神戸市とメットライフ生命との包括連携に関する協定」の具体的な内容

(1) 人材育成に関すること

- 世界で活躍できるグローバル人材の育成：大学生向けのグローバル人材育成講座を実施
- 高校におけるSTEAM教育の支援：高校生向けにデータサイエンティストによるプログラムを実施
- DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）の理解促進・文化醸成：職員研修を実施

(2) スタートアップ支援に関すること

- 神戸市と協働した女性起業家の支援：シリコンバレー発の女性起業家育成プログラムへの支援を実施

(3) 環境サステナビリティに関すること

- 里地里山の保全活動への参画：北区の「キーナの森」にて森林保全ボランティアを実施

(4) 健康増進、ウェルビーイング向上に関すること

- 次世代のためのファイナンシャルリテラシー向上：高校家庭科教職員向けに金融教育に関する研修を実施
- 安心・健康でゆとりあるくらしのための情報発信：健康・介護・認知症関連施策に関する情報を発信

(5) 神戸の魅力向上と情報発信に関すること

- 社内のデジタルツールを活用した「神戸ブランド」の発信：神戸市の観光情報やふるさと納税等の情報を発信
- 海外への市内大学の情報発信：海外で日本/神戸留学セミナーを実施

上記の他にも、さまざまな連携事業に取り組んでまいります。

2.メットライフ生命について

メットライフ生命は日本初の外資系生命保険会社として1973年に営業を開始し、現在は世界有数の生命保険グループ会社、米国メットライフの日本法人としてお客さまに常に寄り添い、最適な保障を選ぶお手伝いをしています。多様な販売チャンネルを通じて、個人・法人のお客さまに対し幅広いリスクに対応できる、革新的な商品の提供に努めています。
<https://www.metlife.co.jp/>

3.添付資料

- ・神戸市とメットライフ生命との包括連携に関する協定書
- ・神戸市とメットライフ生命との包括連携協定締結について

神戸市とメットライフ生命保険株式会社との包括連携に関する協定書

神戸市（以下「甲」という。）とメットライフ生命保険株式会社（以下「乙」という。）とは、相互の連携を強化し、神戸のまち・くらしの質を高め、海と山が育むグローバル貢献都市の実現を目指し、協働で取り組むため、次のとおり、協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（連携事項）

第1条 甲及び乙は、前文の目的を達成するため、保険業法等適用ある法令等で許容される範囲内で、次の事項について連携し協力する。

- (1) 人材育成に関すること。
- (2) スタートアップ支援に関すること。
- (3) 環境サステナビリティに関すること。
- (4) 健康増進、ウェルビーイング向上に関すること。
- (5) 神戸の魅力向上と情報発信に関すること。
- (6) その他、本協定の趣旨を実現するために必要なこと。

2 甲及び乙は、前項に掲げる事項に関する取組みを効果的に実施するため、継続的な意見交換を行い、具体的な事業の実施にあたっては、都度必要な協議及び契約の締結を行うものとする。

（機密の保持）

第2条 甲及び乙は、本協定に関して知り得た情報を第三者（メットライフグループ関連会社及び弁護士、会計士、税理士その他の外部専門家を除く。）に対して漏らしてはならない。本協定の効力が失われた後も同様とする。

2 前項の規定にかかわらず、事前に相手方の承諾を得た場合、甲又は乙以外の者に対し、本協定に関して知り得た情報を提供することができるものとする。

（期間）

第3条 本協定の有効期間は、本協定締結の日から令和5年（2023年）3月31日までとする。ただし、有効期間満了日の1か月前までに、甲又は乙のいずれからも特段の申し出がない場合は、本協定は自動的に1年間延長されるものとし、以後も同様とする。

2 前項の有効期間中にかかわらず、甲又は乙は、解約予定日の1か月前までに書面により相手方に通知することにより、相手方に何らの責任を負うことなく、本協定を解約できるものとする。

（実績報告）

第4条 甲及び乙は、本協定に基づいた当年度の連携事業の報告書を協議のうえ作成するものとする。

（協定の解除）

第5条 甲及び乙は、神戸市と民間事業者等との事業連携協定等に関する実施要綱を順守するものとし、これに違反した場合には、本協定を解除することができるものとする。

（疑義の決定）

第6条 本協定に定めのない事項又は本協定の内容に疑義が生じたときは、甲及び乙が誠意をもって協議のうえ決定する。また、甲又は乙のいずれかが本協定の内容の変更を申し出たときは、その都度協議のうえ書面をもって変更するものとする。

以上、本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲及び乙が署名のうえ、各自その1通を保有するものとする。

令和4（2022年）年6月9日

神戸市中央区加納町6丁目5番1号

甲 神戸市

代表者 神戸市長

東京都千代田区紀尾井町1番3号

乙 メットライフ生命保険株式会社

取締役 代表執行役 会長 社長 最高経営責任者